④ 過年度のモニタリング調査結果との比較

沖縄本島地域の平成 23 年度から令和 3 年度の 365 日あたりの漂着量を表 4.3-13 から表 4.3-16、図 4.3-23 から図 4.3-30 に示す。平成 24 年度に 2,000t を超える海岸漂着物を回収したが、平成 25 年度、26 年度は 500t を下回る漂着重量であった。令和 3 年度においても 500t を下回っていた。また、漂着量の多くを木類が占め、木類を除くとその他のプラスチック類が多い傾向は、重量・容量ともに過年度と同様であった。

宮古諸島地域の平成 22 年度から令和 3 年度の 60 日あたりの漂着量を表 4.3-15 から表 4.3-16、図 4.3-37 から図 4.3-42 に示す。

表 4.3-13　H22 年度～令和 3 年度の地域別海岸漂着物の漂着**重量**推計結果

（沖縄本島地域）（365 日あたり）

単位：t

地域区分	調査年度	種類						
		ペットボトル	漁業用ブイ	その他のプラスチック類	発泡スチロール類	木類	その他	合計
沖縄本島	平成23年度	18	76	60	20	316	61	550
	平成24年度	17	20	82	17	2,096	36	2,268
	平成25年度	12	23	38	9	157	27	283
	平成26年度	20	39	61	10	236	81	447
	令和3年度	18	24	68	8	50	29	197
	平均値(t)	17	36	62	13	571	47	749

※令和元年度は、沖縄本島地域は未調査

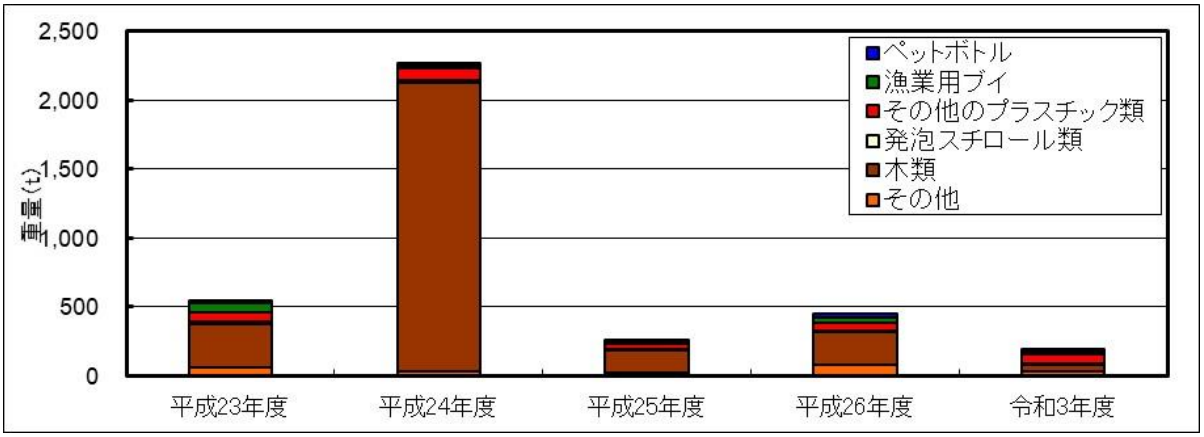
表 4.3-14　H22 年度～H28 年度の地域別海岸漂着物の漂着**容量**推計結果比較

（沖縄本島地域）（365 日あたり）

単位：m3

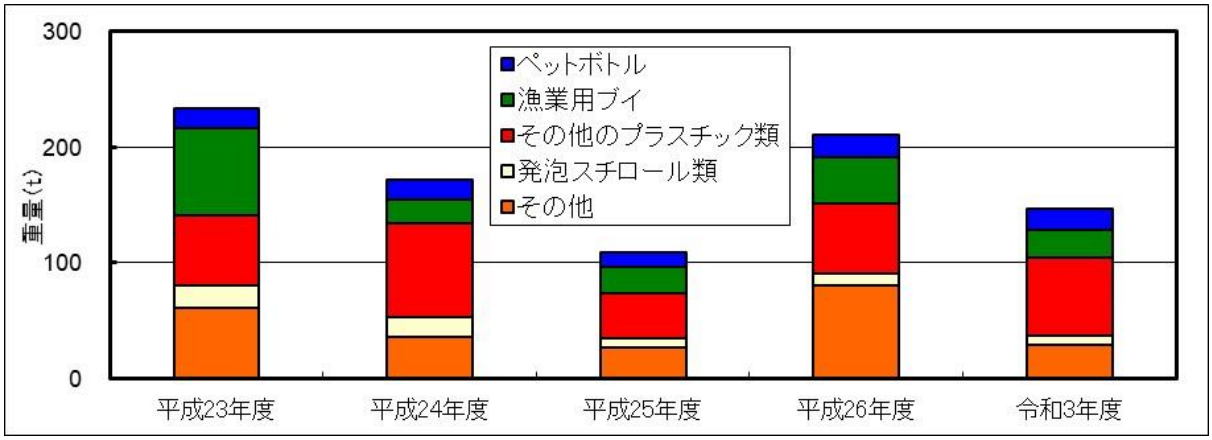
地域区分	調査年度	種類						
		ペットボトル	漁業用ブイ	その他のプラスチック類	発泡スチロール類	木類	その他	合計
沖縄本島	平成23年度	645	746	914	758	2,006	222	5,291
	平成24年度	586	145	860	869	13,594	254	16,309
	平成25年度	321	217	509	487	1,630	150	3,497
	平成26年度	553	366	851	530	1,994	320	4,614
	令和3年度	574	176	871	331	25	97	2,138
	平均値(m^3)	536	330	801	595	3,850	209	6,370

※令和元年度は、沖縄本島地域は未調査



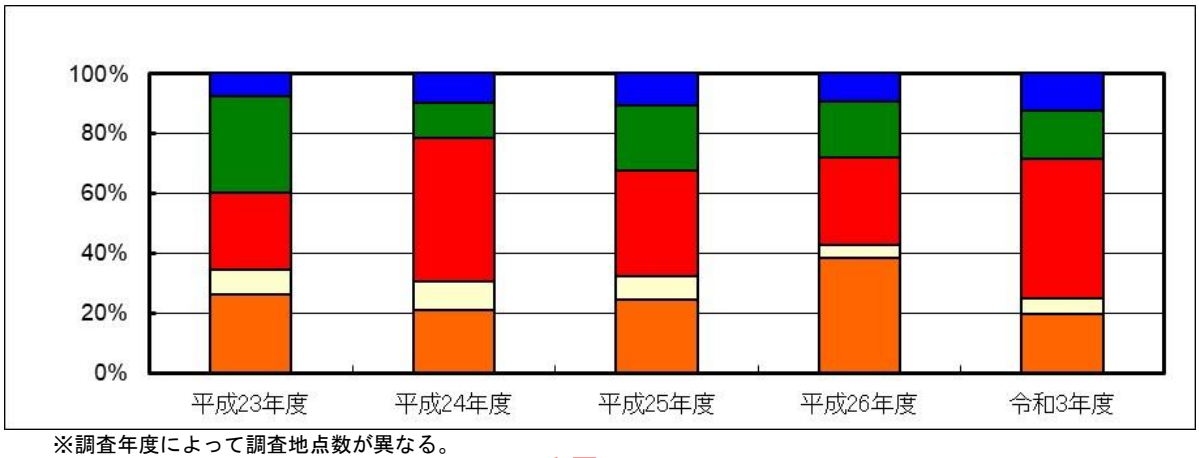
※調査年度によって調査地点数が異なる。

図 4.3-31　地域別の海岸漂着物の漂着**重量**推計結果（沖縄本島地域）（365 日あたり）
【種類別】【平成 23 年度から令和 3 年度】



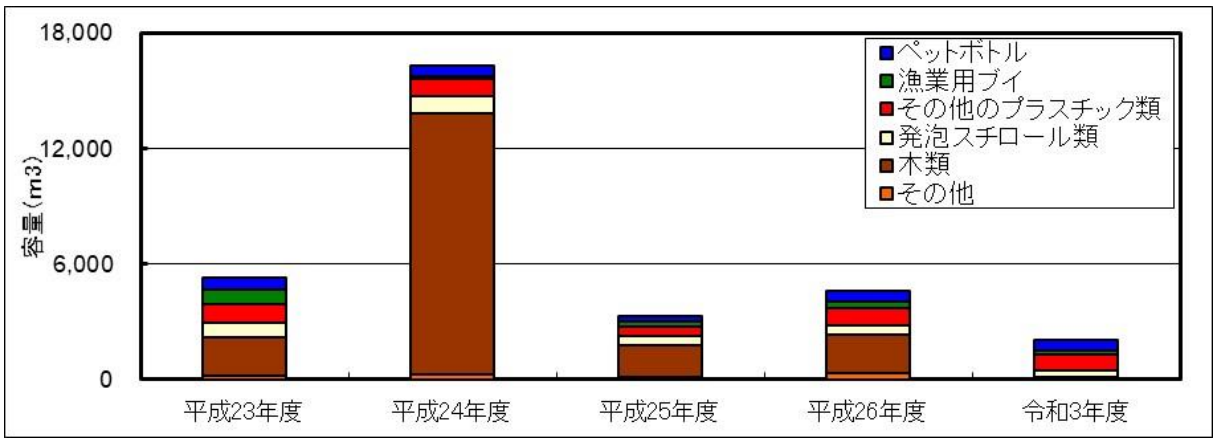
※調査年度によって調査地点数が異なる。

図 4.3-32 地域別の海岸漂着物の漂着**重量**推計結果（沖縄本島地域）（365 日あたり）
【プラスチックに注目した種類別　木類を除く】【平成 23 年度から令和 3 年度】



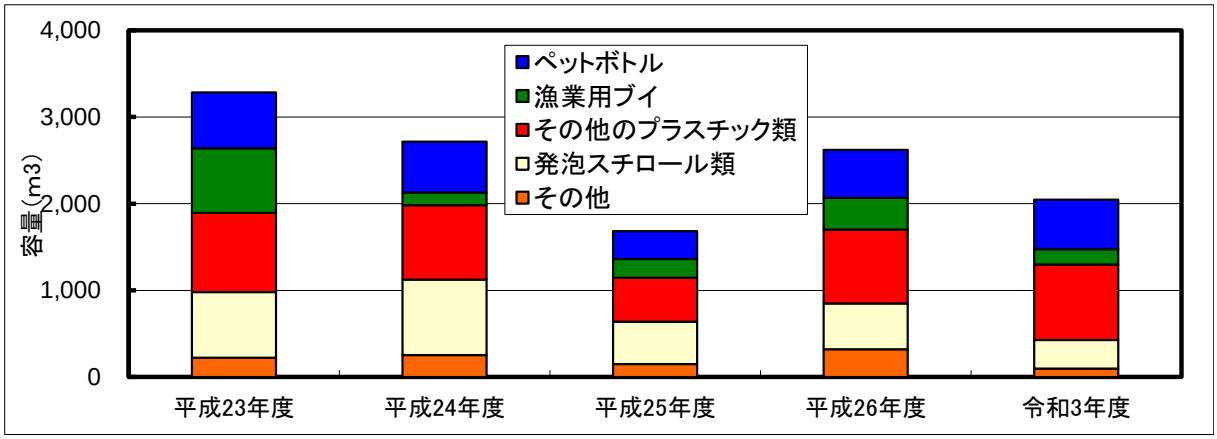
※調査年度によって調査地点数が異なる。

図 4.3-33 地域別の海岸漂着物の漂着**重量**推計結果（沖縄本島地域）（365 日あたり）
【プラスチックに注目した種類別　木類を除く　割合】【平成 23 年度から令和 3 年度】



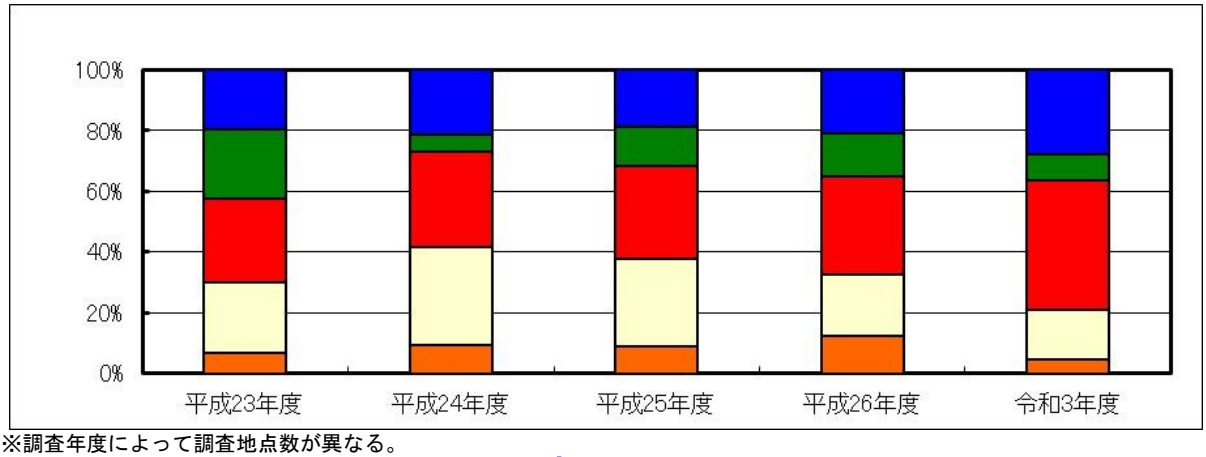
※調査年度によって調査地点数が異なる。

図 4.3-34　地域別の海岸漂着物の漂着**容量**推計結果（沖縄本島地域）（365 日あたり）
【種類別】【平成 23 年度から令和 3 年度】



※調査年度によって調査地点数が異なる。

図 4.3-35 地域別の海岸漂着物の漂着**容量**推計結果（沖縄本島地域）（60 日あたり）
【プラスチック類に注目した種類別　木類を除く】【平成 23 年度から令和 3 年度】



※調査年度によって調査地点数が異なる。

図 4.3-36 地域別の海岸漂着物の漂着**容量**推計結果（沖縄本島地域）（60 日あたり）
【プラスチック類に注目した種類別　木類を除く　割合】【平成 23 年度から令和元年度】

表 4.3-15　H22 年度～令和 3 年度の地域別海岸漂着物の漂着**重量**推計結果

（宮古諸島地域）（60 日あたり）

単位：t

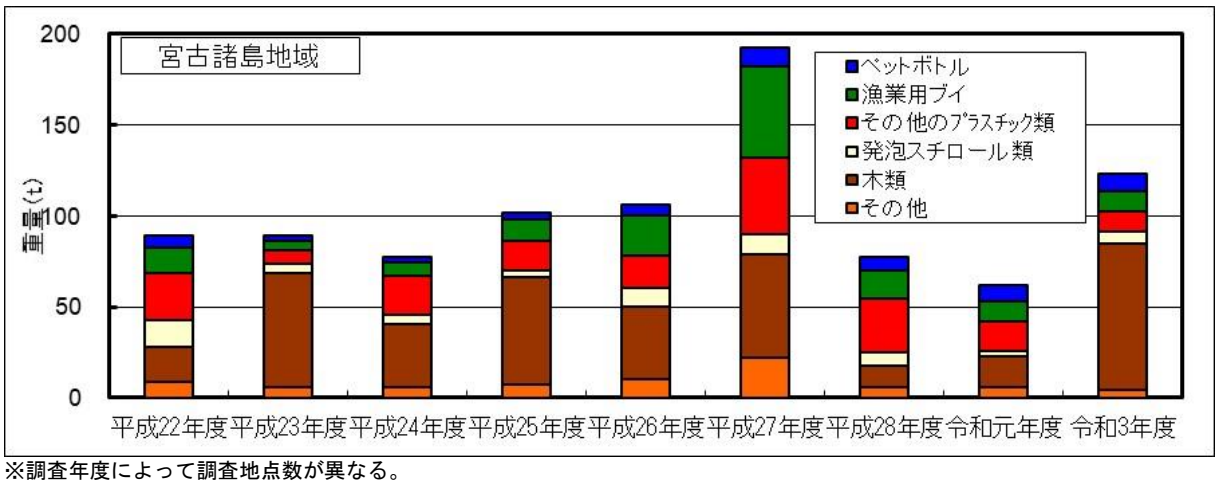
地域区分	調査年度	種類						
		ペットボトル	漁業用ブイ	その他のﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	発泡スチロール類	木類	その他	合計
宮古諸島	平成22年度	7	14	26	14	19	9	89
	平成23年度	3	5	7	5	63	6	89
	平成24年度	3	7	22	5	35	6	77
	平成25年度	4	12	16	4	59	7	101
	平成26年度	6	22	18	10	40	10	106
	平成27年度	10	50	42	12	57	22	192
	平成28年度	8	16	30	7	12	6	78
	令和元年度	9	11	16	3	17	6	62
	令和3年度	10	11	11	6	81	4	123
	平均	7	16	21	7	42	8	102

表 4.3-16　H22 年度～H28 年度の地域別海岸漂着物の漂着**容量**推計結果比較

（宮古諸島地域）（60 日あたり）

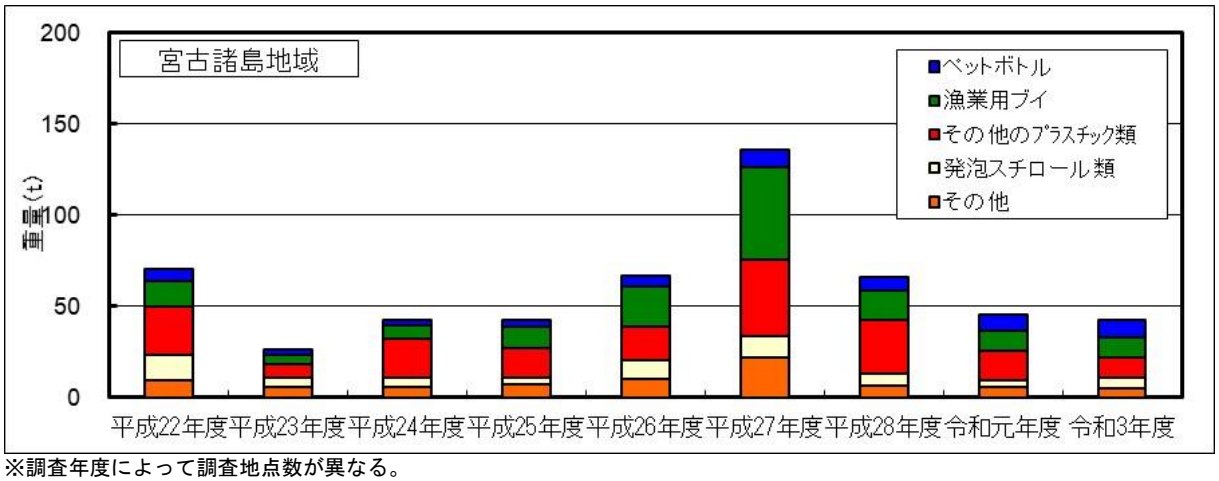
単位：m3

地域区分	調査年度	種類						
		ペットボトル	漁業用ブイ	その他のﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	発泡スチロール類	木類	その他	合計
宮古諸島	平成22年度	254	110	214	575	110	31	1294
	平成23年度	129	58	103	463	381	23	1,157
	平成24年度	85	30	184	193	226	27	746
	平成25年度	177	138	193	312	224	32	1,075
	平成26年度	314	236	190	585	244	70	1,639
	平成27年度	271	550	457	648	158	118	2,203
	平成28年度	293	176	377	369	50	42	1,307
	令和元年度	328	151	198	190	143	43	1,052
	令和3年度	193	119	154	252	218	25	960
	平均	227	174	230	398	195	46	1270



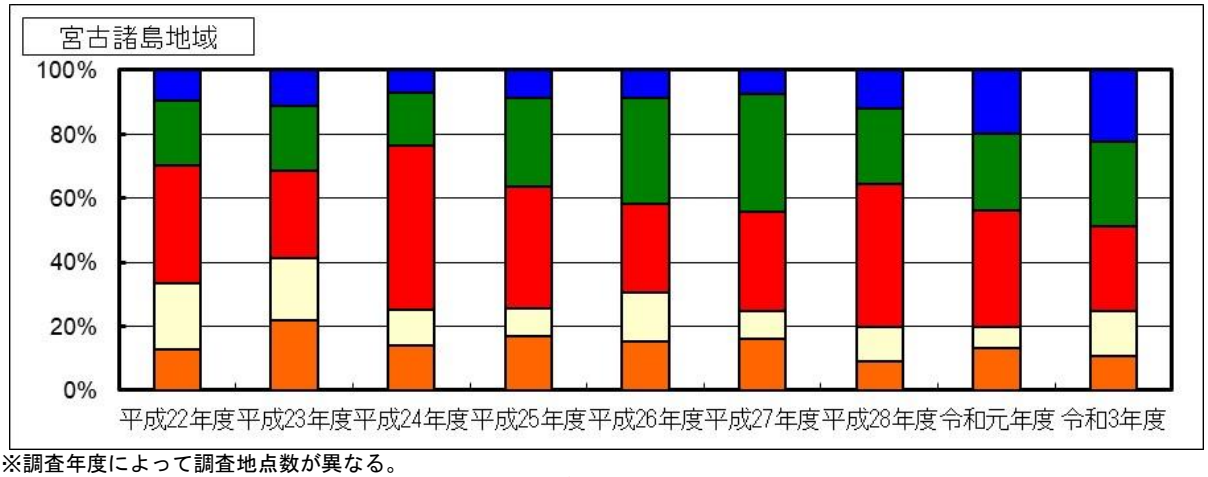
※調査年度によって調査地点数が異なる。

図 4.3-37　地域別の海岸漂着物の漂着**重量**推計結果（宮古諸島地域）（60 日あたり）
【種類別】【平成 22 年度から令和 3 年度】



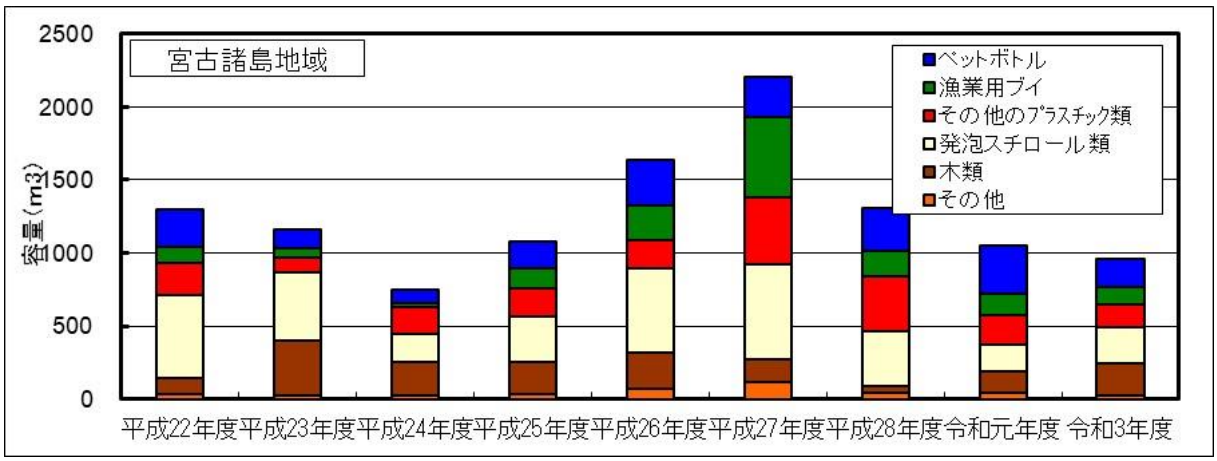
※調査年度によって調査地点数が異なる。

図 4.3-38 地域別の海岸漂着物の漂着**重量**推計結果（宮古諸島地域）（60 日あたり）
【プラスチックに注目した種類別　木類を除く】【平成 22 年度から令和 3 年度】



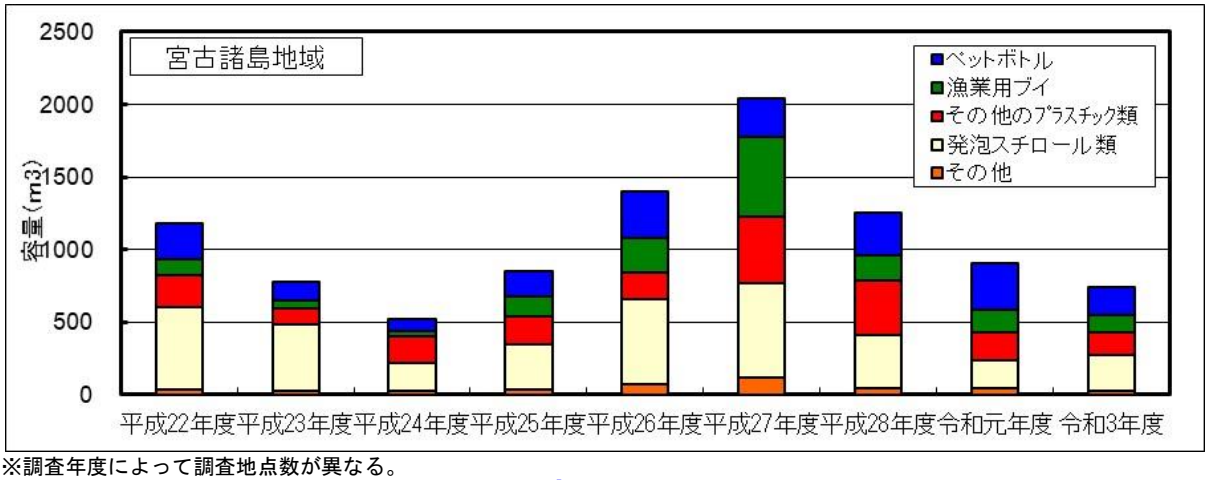
※調査年度によって調査地点数が異なる。

図 4.3-39 地域別の海岸漂着物の漂着**重量**推計結果（宮古諸島地域）（60 日あたり）
【プラスチックに注目した種類別　木類を除く　割合】【平成 22 年度から令和 3 年度】



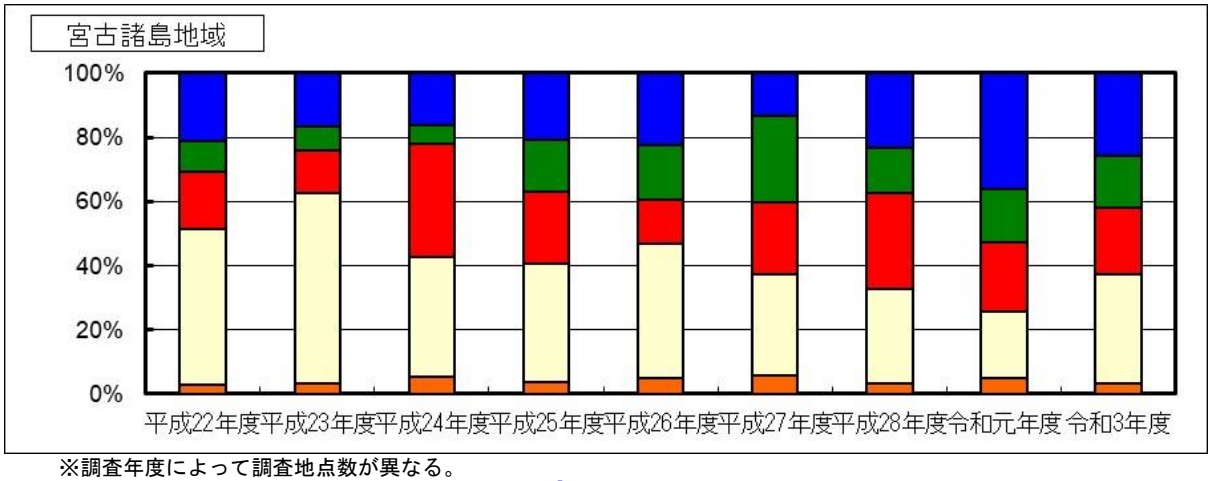
※調査年度によって調査地点数が異なる。

図 4.3-40　地域別の海岸漂着物の漂着**容量**推計結果（宮古諸島地域）（60 日あたり）
【種類別】【平成 22 年度から令和 3 年度】



※調査年度によって調査地点数が異なる。

図 4.3-41 地域別の海岸漂着物の漂着**容量**推計結果（宮古諸島地域）（60 日あたり）
【プラスチック類に注目した種類別　木類を除く】【平成 22 年度から令和 3 年度】



※調査年度によって調査地点数が異なる。

図 4.3-42 地域別の海岸漂着物の漂着**容量**推計結果（宮古諸島地域）（60 日あたり）
【プラスチック類に注目した種類別　木類を除く　割合】【平成 22 年度から令和元年度】

⑤ 特徴的な海岸漂着物の分析・測定

沖縄本島地域の 365 日あたりの特徴的な海岸漂着物について、分析結果の概要を表 4.3-17 から表 4.3-21、図 4.3-43 から図 4.3-54 に示す。

表 4.3-17　特徴的な海岸漂着物の分析結果概要

特徴的な海岸漂着物	結果概要
ペットボトル	【容量等】 ほとんどの調査対象海岸で容量 1000cc 未満のものが多くを占めた。 1000cc 未満のペットボトルはそのほとんどが 500cc 前後の飲料用であった。 【生産国】 辺土名東では中国製の割合が高く全確認個数の約 49%を占めたが、その他の海岸では日本、ベトナムの割合が最も高かった。特に太平洋側の桃原漁港北、知念南ではベトナム製のペットボトルが最も多く確認され、桃原漁港北では全確認個数の約 9.7%、知念南では約 16%を占めた。これまでの製造国分析では中国製が多く確認されていたことから、ベトナム製ペットボトルが多く確認されたこと、また太平洋側の海岸でのみ確認されたことは、本年度調査における特徴といえる。 ベトナム製のペットボトルについては、県内広域において近年漂着量が増えており、またデータとしての記録はないものの、銘柄も増えていることが調査時に確認されてきている。
飲料缶	確認個数の最大は 21 個であり、確認数は多くなかった。ほとんどが日本製で、確認数の多かった辺土名東や知念南では確認したすべてが日本製であった。
ポリタンク	5 個確認されたが、多くの生産国は不明であった。
漁業用ブイ	【直径 20cm 未満】 伊江、桃原漁港北、知念南の太平洋側の海岸で多い傾向がみられた。 これらの海岸ではウレタン製の白いブイ（図 4.3-49 の「その他」に含まれる）が多く、次いで水色の小型やオレンジのブイが多かった。 【直径 20cm 以上】 直径 20cm 未満の漁業用ブイと同様に、太平洋側の伊江、桃原漁港北、知念南で漂着量が多かった。またこれらの海岸では黒色のブイが多くを占めた。
ビニール製バルーン	確認数が 3 個と少なく、そのすべてで生産国は確認されなかった。
電球・蛍光灯	確認数が 3 個と少なく、ラベル有の電球蛍光灯は確認されなかった。

表 4.3-18 特徴的な海岸漂着物の漂着個数

（沖縄本島地域）（令和 2 年 11 月～令和 3 年 11 月の 365 日あたり）

素 材	種 類			沖縄本島					
				東シナ海北部	東シナ海中部	東シナ海南部	太平洋北部	太平洋中部	太平洋南部
				辺土名東	美留	喜屋武漁港南	伊江	桃原漁港北	知念南
プラスチック類	ペットボトル	1000cc未満	ラベル有	9	1		26	135	136
			ラベル無	28	1	2	56	206	169
		1000cc以上	ラベル有	1	1		6	29	19
			ラベル無	3	1		14	84	39
	漁業用ブイ	直径20cm以下	水色（大）	1			3	2	1
			水色（小）	4			17	16	17
			オレンジ	5		1	28	22	12
			その他	6	1	1	36	42	18
	漁業用ブイ	直径20cm以上	黒色				2	4	6
			赤・黄・橙色系	1			1		2
			その他	1			1	1	
	ライター			3	1	4	10	6	8
	日本製の農業用の容器・袋類								1
	日本製の飲食用の容器・袋類			9	5	11	2	2	10
	ポリタンク		韓国						
			その他					1	
			不明				1	3	
	ビニール製バルーン		中国						
			台湾						
			その他・不明		1			2	
発泡スチロール類	日本製の飲食用の容器・袋類						3		
ガラス・陶磁器類	電球						1	3	3
	電球（ラベル有）								
	蛍光灯					1		1	1
	蛍光灯（ラベル有）								
金属類	飲料缶（日本製）			21	6	10	7	13	20
	飲料缶（海外製）				1				
医療系廃棄物	バイアル								
	注射器・針								
	その他								

注）空欄は回収がないことを示す。

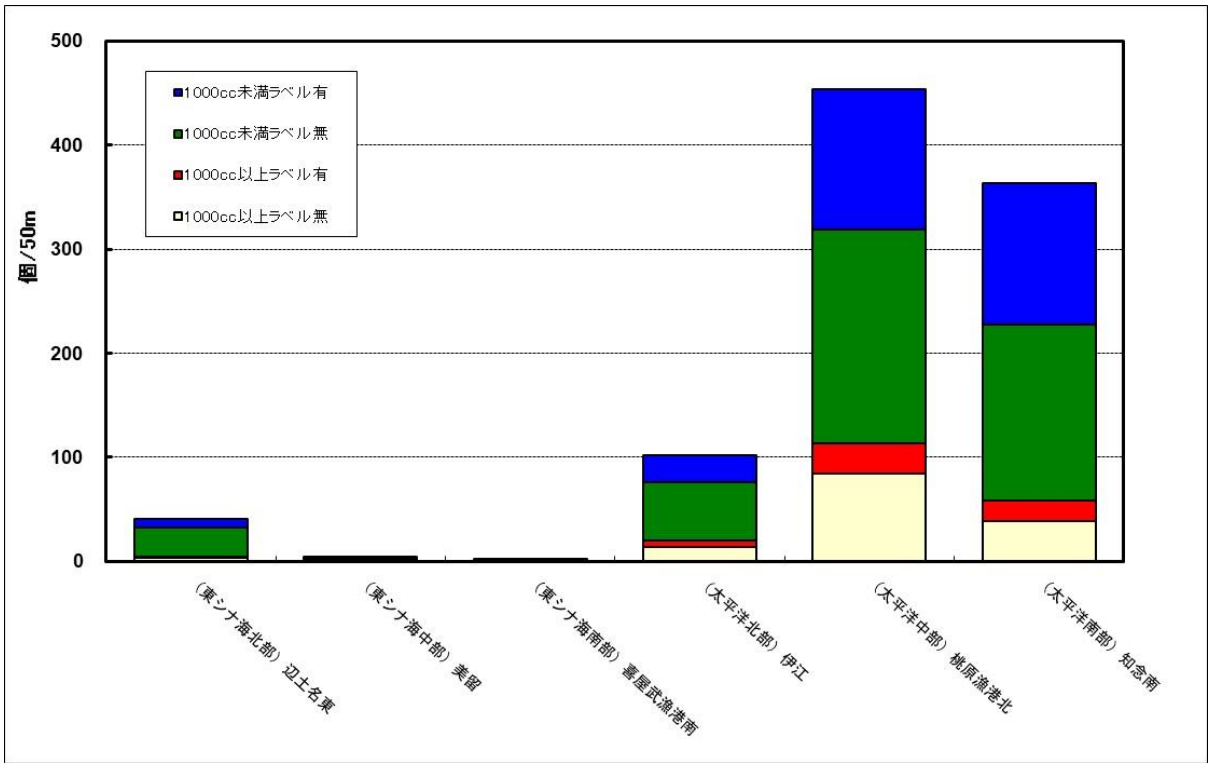


図 4.3-43　ペットボトルの容量及びラベルの有無別の漂着個数調査結果（沖縄本島地域）
（令和 2 年 11 月～令和 3 年 11 月の 365 日あたり）

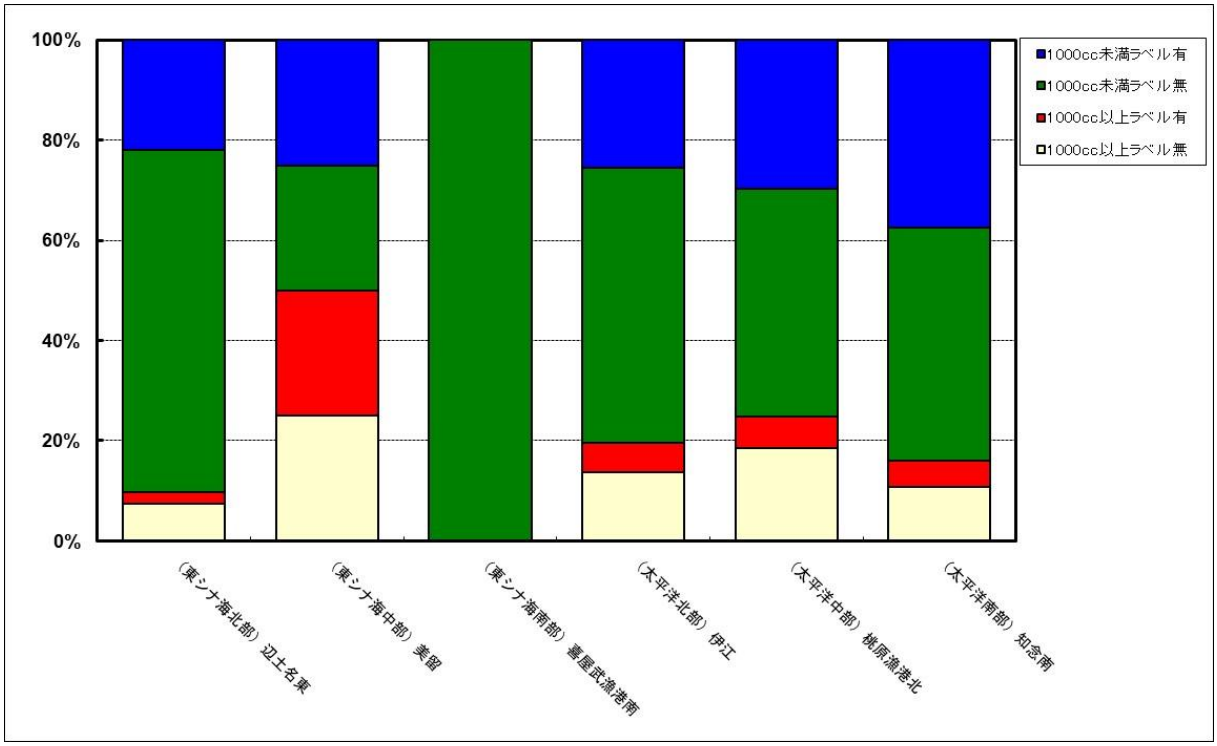


図 4.3-44　ペットボトルの容量及びラベルの有無別の漂着個数調査結果（沖縄本島地域）
（令和 2 年 11 月～令和 3 年 11 月の 365 日あたり）【割合】

表 4.3-19　ペットボトルの生産国別の整理（沖縄本島地域）

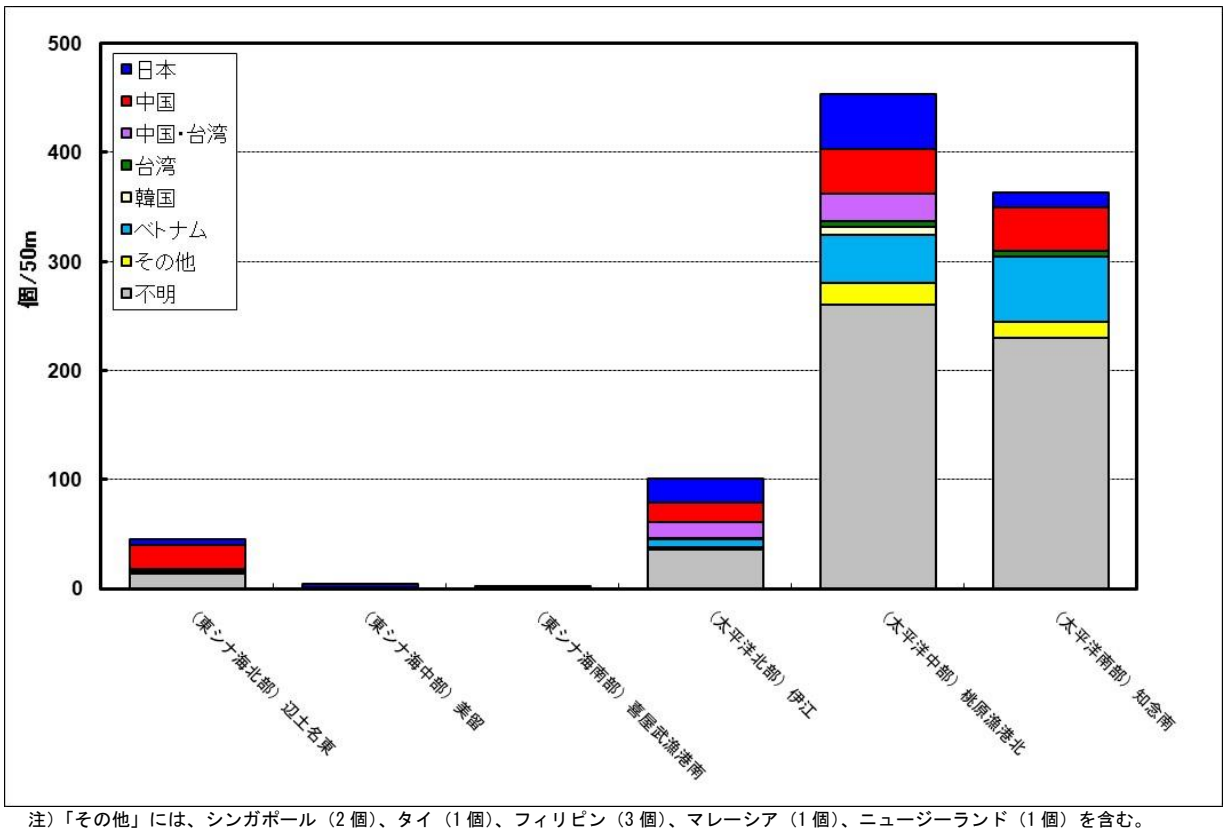
（令和 2 年 11 月～令和 3 年 11 月の 365 日あたり）

単位：個/50m

種　類	生産国	沖縄本島						合計
		東シナ海北部	東シナ海中部	東シナ海南部	太平洋北部	太平洋中部	太平洋南部	
		辺戸名東	美留	喜屋武漁港南	伊江	桃原漁港北	知念南	
国名	日本	5	3	1	22	51	13	95
	中国	22	1		18	41	40	122
	中国・台湾	2			15	25		42
	台湾	1				5	6	12
	韓国	1			1	8		10
	ベトナム				7	44	59	110
	その他				2	20	15	37
	不明	14		1	36	260	230	541
	合計	45	4	2	101	454	363	969

注 1)「その他」には、シンガポール（2 個）、タイ（1 個）、フィリピン（3 個）、マレーシア（1 個）、ニュージーランド（1 個）を含む。

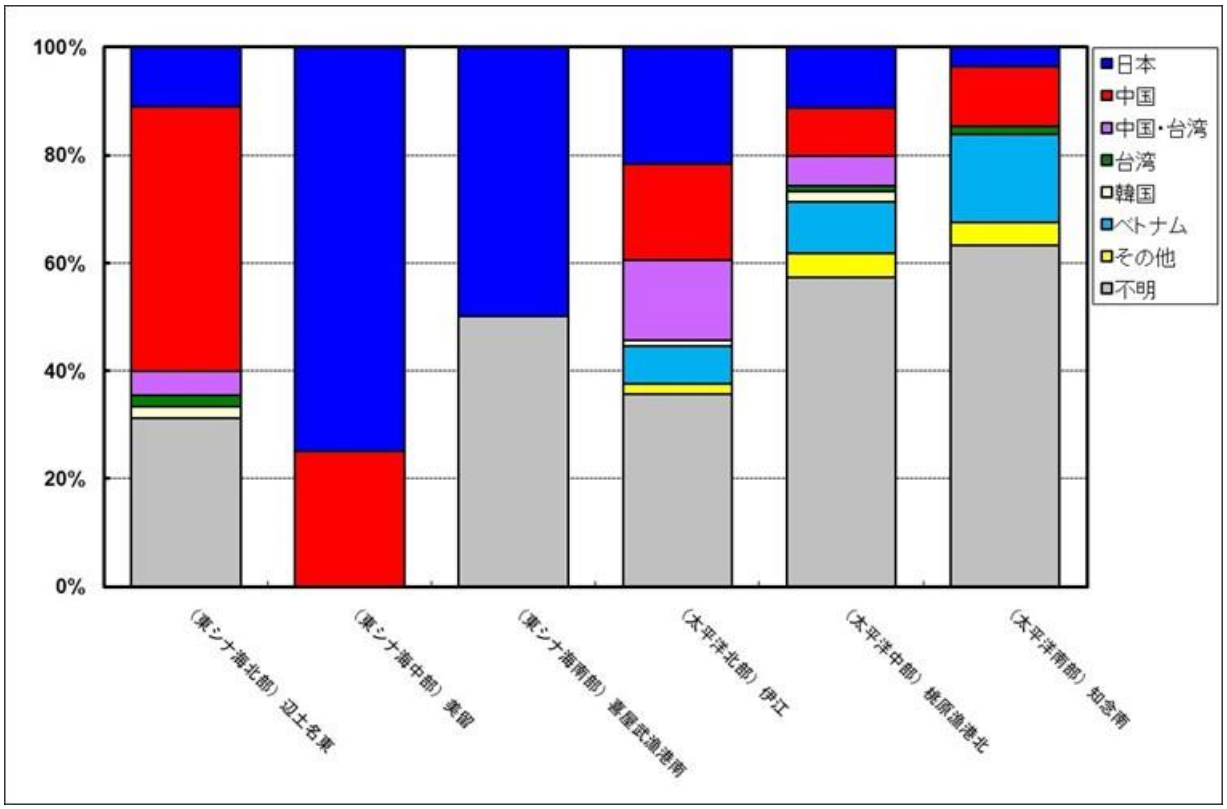
注 2)空欄は回収がないことを示す。



注）「その他」には、シンガポール（2 個）、タイ（1 個）、フィリピン（3 個）、マレーシア（1 個）、ニュージーランド（1 個）を含む。

図 4.3-45　ペットボトルの生産国別漂着個数調査結果（沖縄本島地域）

（令和 2 年 11 月～令和 3 年 11 月の 365 日あたり）



注）「その他」には、シンガポール（2 個）、タイ（1 個）、フィリピン（3 個）、マレーシア（1 個）、ニュージーランド（1 個）を含む。

図 4.3-46　ペットボトルの生産国別漂着個数調査結果（沖縄本島地域）

（令和 2 年 11 月～令和 3 年 11 月の 365 日あたり）【割合】

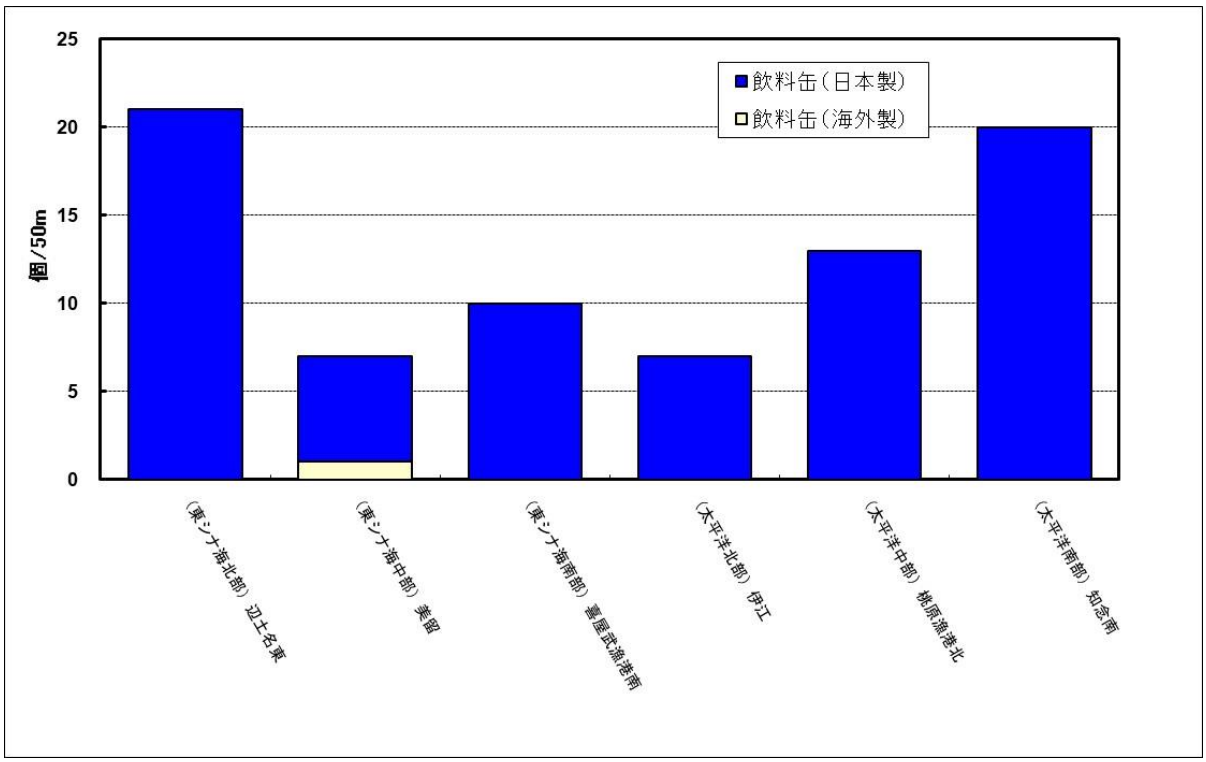


図 4.3-47　飲料缶の生産国別漂着個数調査結果（沖縄本島地域）
（令和 2 年 11 月～令和 3 年 11 月の 365 日あたり）

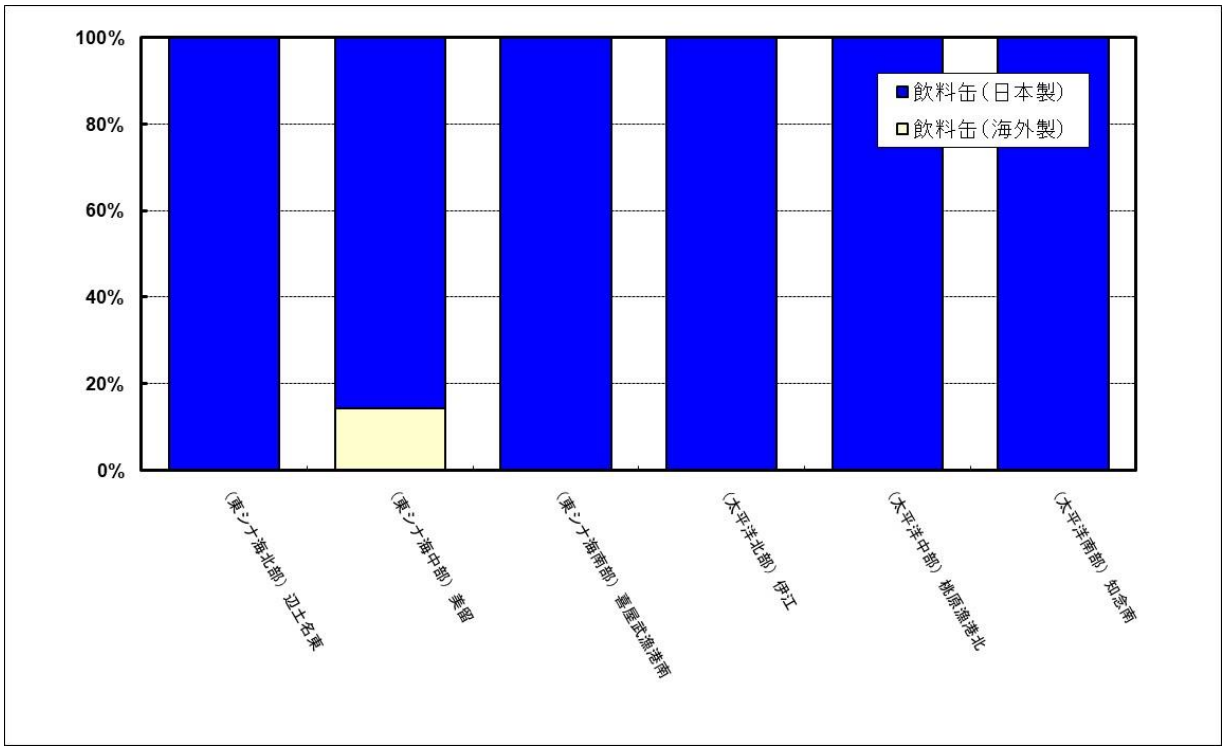
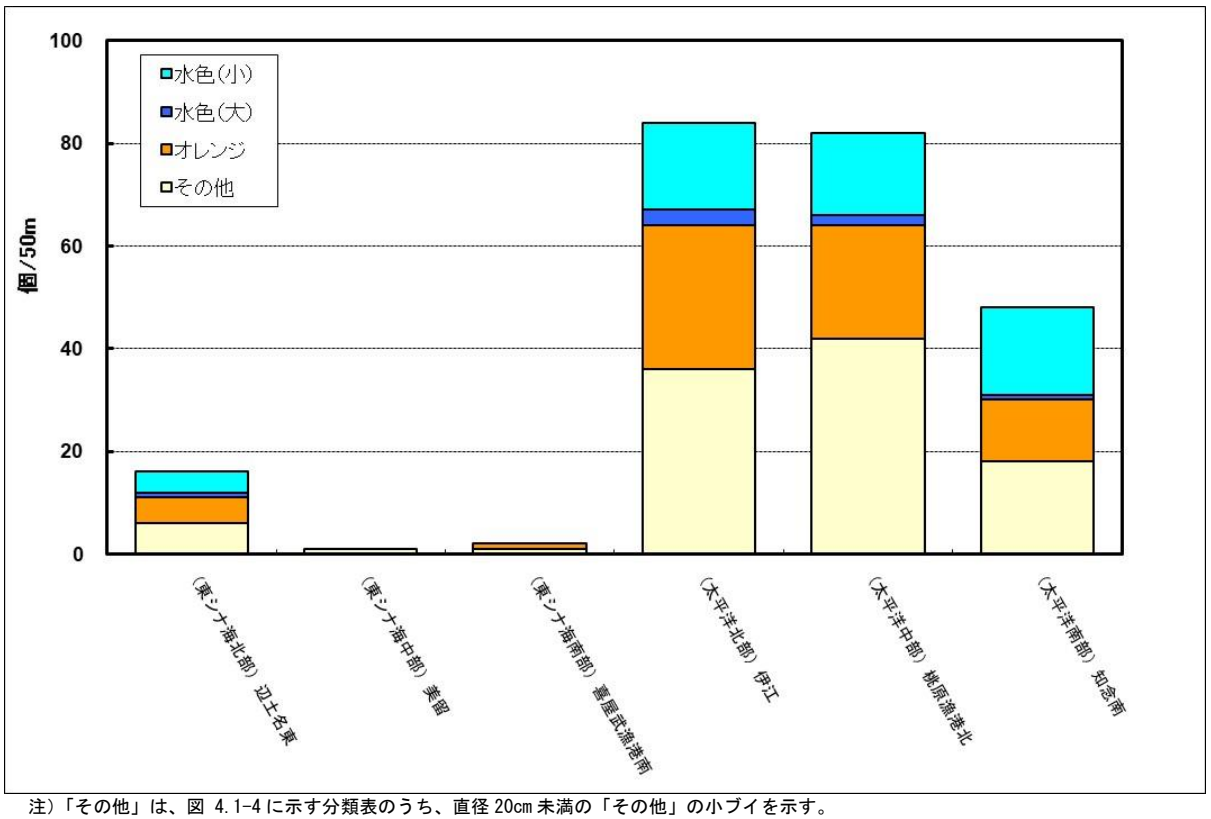
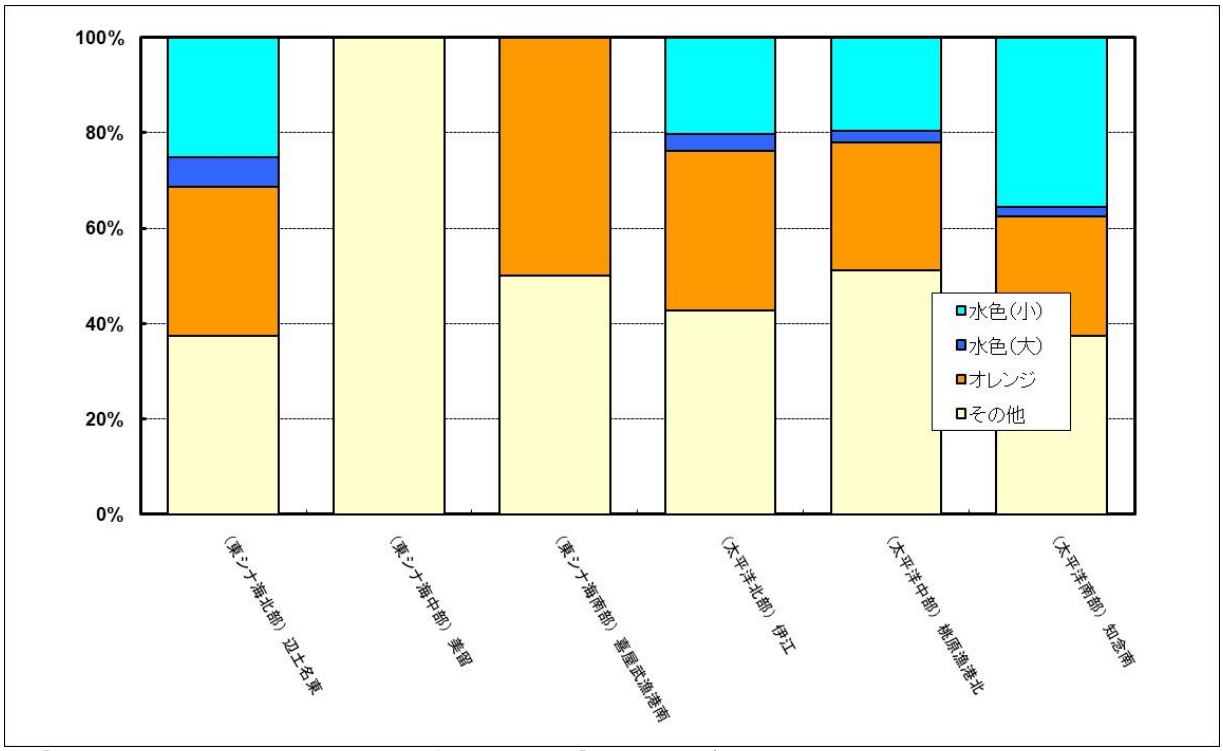


図 4.3-48　飲料缶の生産国別漂着個数調査結果（沖縄本島地域）
（令和 2 年 11 月～令和 3 年 11 月の 365 日あたり）【割合】



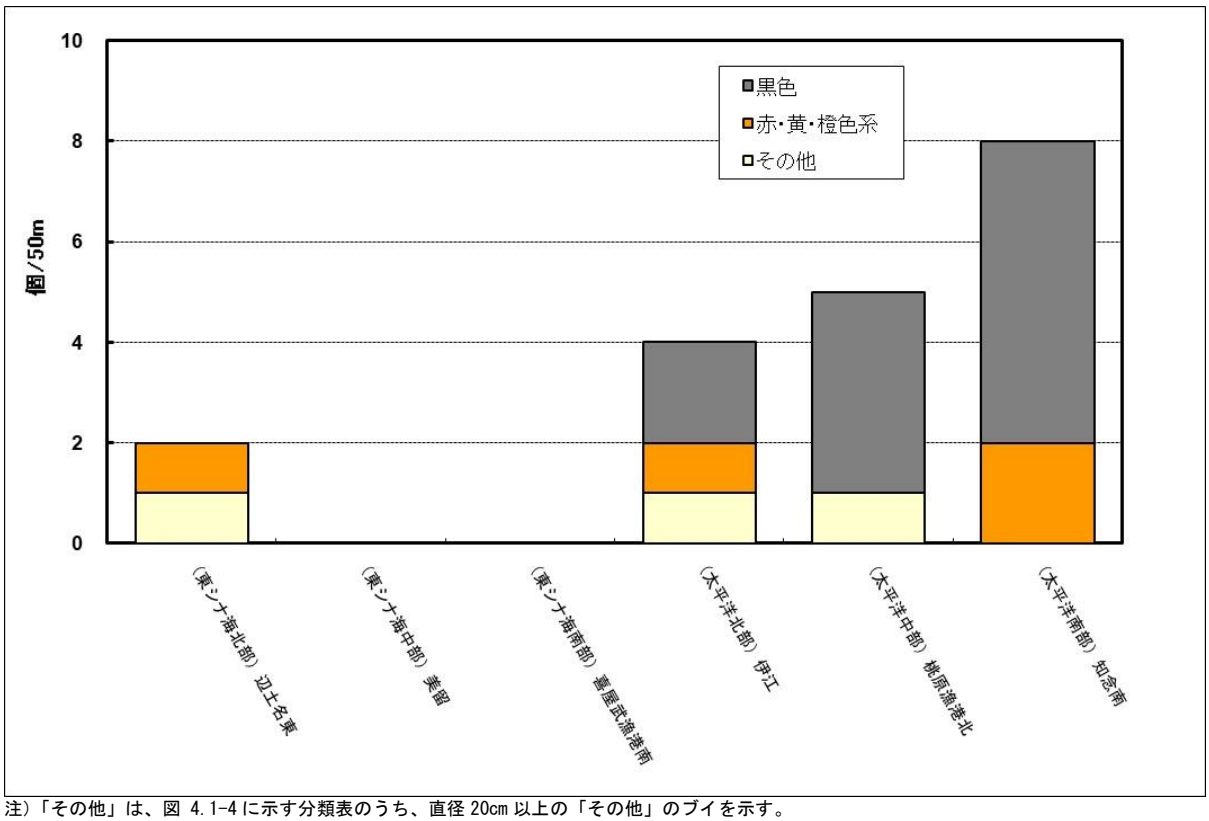
注)「その他」は、図 4.1-4 に示す分類表のうち、直径 20cm 未満の「その他」の小ブイを示す。

図 4.3-49　漁業用ブイ（直径 20ｃｍ未満）の漂着個数調査結果（沖縄本島地域）
（令和 2 年 11 月～令和 3 年 11 月の 365 日あたり）



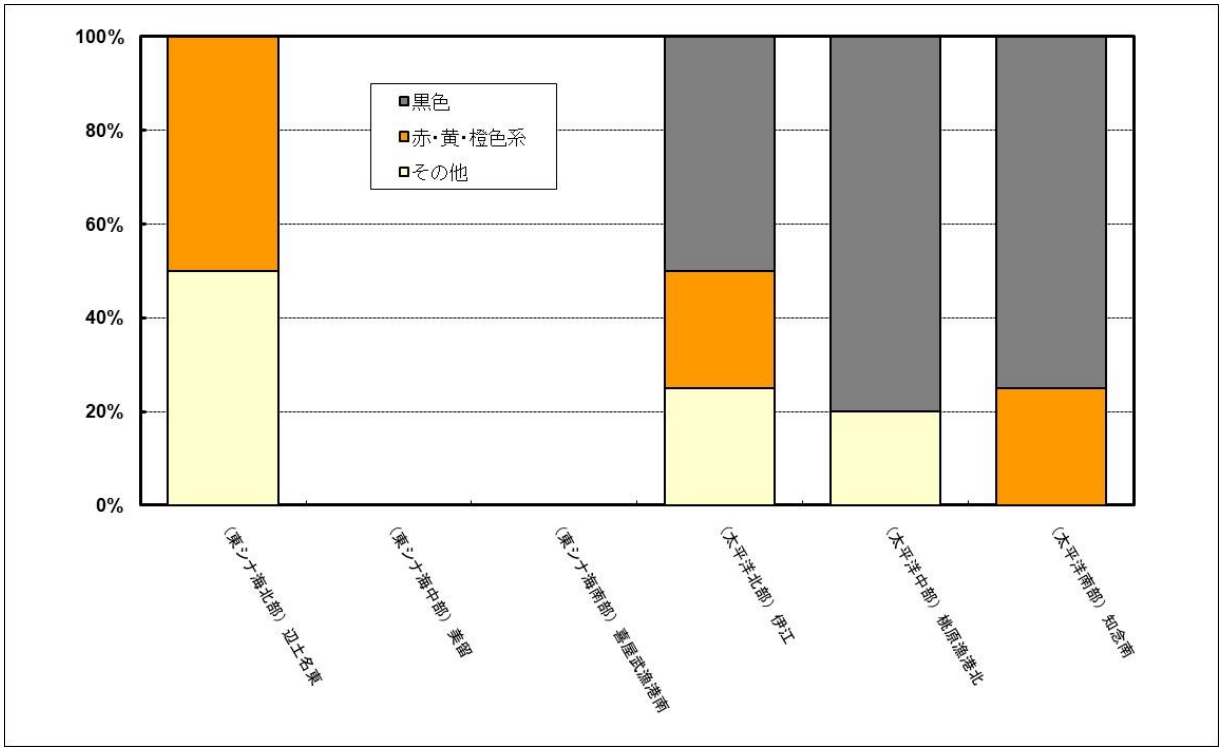
注)「その他」は、図 4.1-4 に示す分類表のうち、直径 20cm 未満の「その他」の小ブイを示す。

図 4.3-50 漁業用ブイ（直径 20ｃｍ未満）の漂着個数調査結果（沖縄本島地域）
（令和 2 年 11 月～令和 3 年 11 月の 365 日あたり）【割合】



注）「その他」は、図 4.1-4 に示す分類表のうち、直径 20cm 以上の「その他」のブイを示す。

図 4.3-51　漁業用ブイ（直径 20ｃｍ以上）の漂着個数調査結果（沖縄本島地域）
（令和 2 年 11 月～令和 3 年 11 月の 365 日あたり）



注）「その他」は、図 4.1-4 に示す分類表のうち、直径 20cm 以上の「その他」のブイを示す。

図 4.3-52　漁業用ブイ（直径 20ｃｍ以上）の漂着個数調査結果（沖縄本島地域）
（令和 2 年 11 月～令和 3 年 11 月の 365 日あたり）【割合】

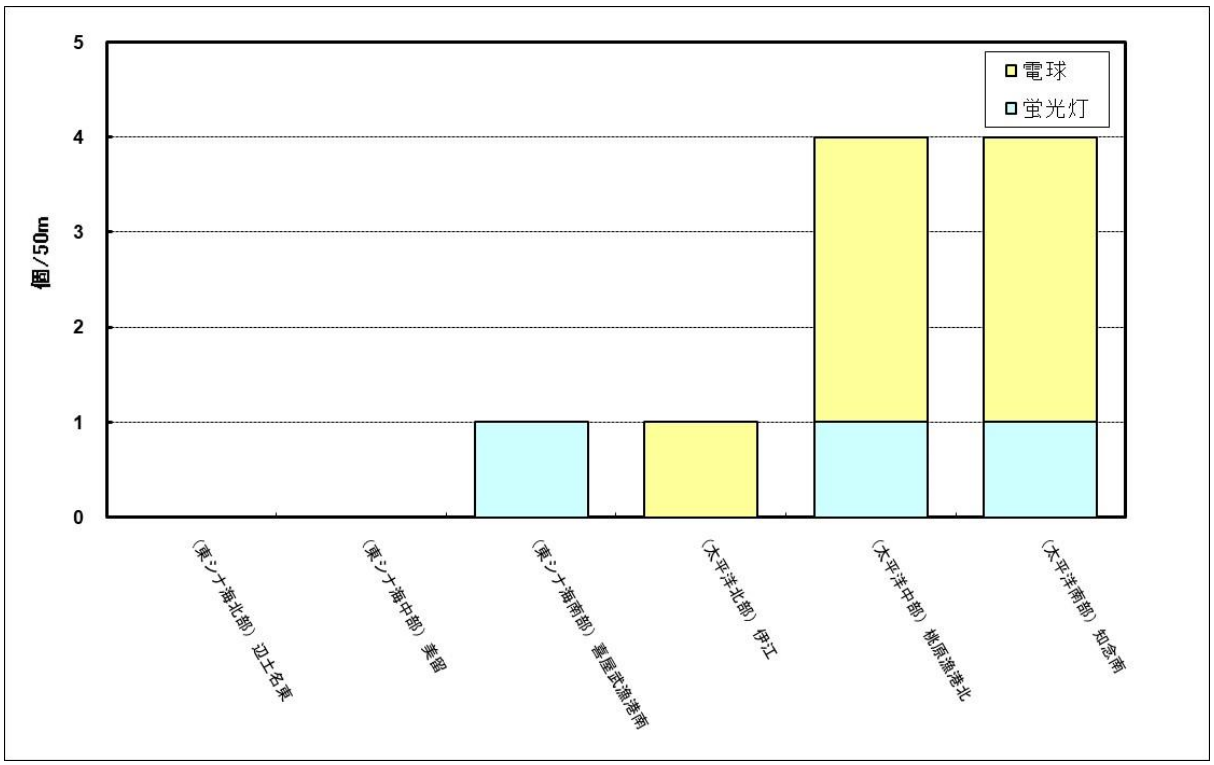


図 4.3-53　電球・蛍光灯の漂着個数調査結果（沖縄本島地域）

（令和 2 年 11 月～令和 3 年 11 月の 365 日あたり）

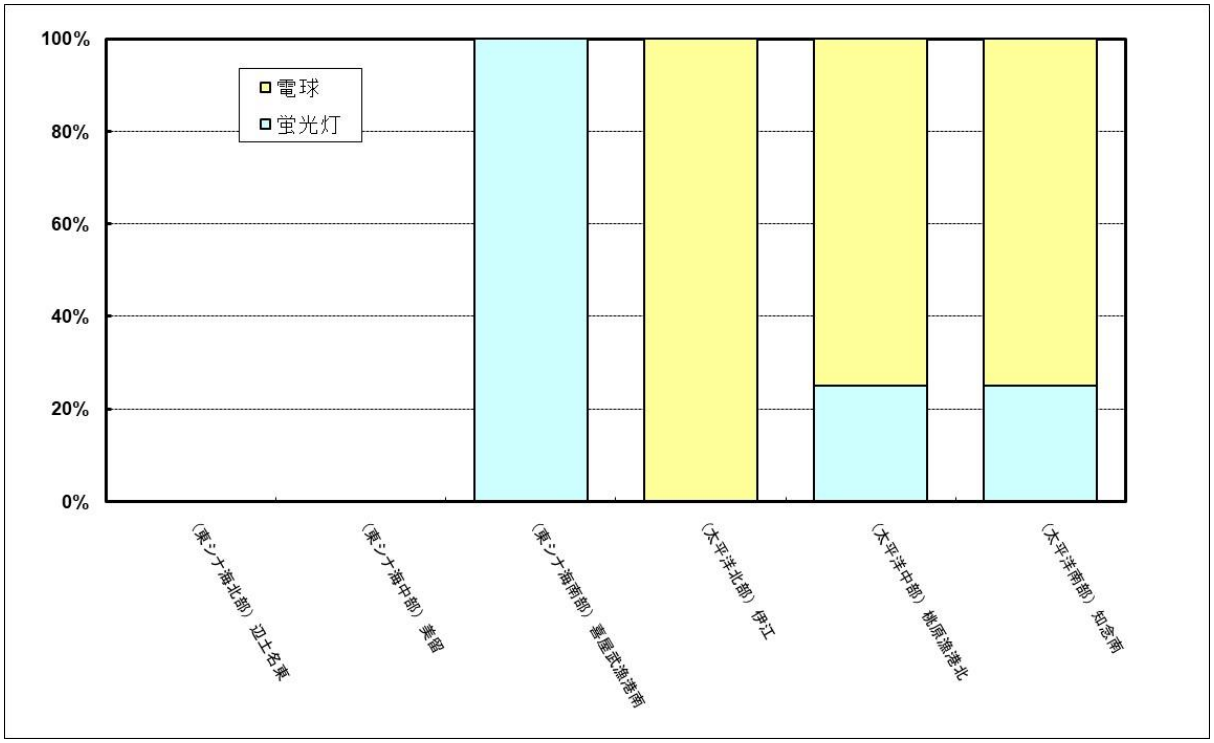


図 4.3-54　電球・蛍光灯の漂着個数調査結果（沖縄本島地域）

（令和 2 年 11 月～令和 3 年 11 月の 365 日あたり）【割合】

宮古諸島地域の 60 日あたりの特徴的な海岸漂着物について、分析結果の概要を表 4.3-20、表 4.3-21、図 4.3-55 から図 4.3-64 に示す。

ペットボトルの確認個数はカギンミ西（北）で多く、585 個を確認した。そのうち 1000cc 未満が約 91%を占めた。1000cc 未満のペットボトルはそのほとんどが 500cc 前後の飲料用ペットボトルであった。国別でみると、漂着量の多かったカギンミ西では中国・台湾が最も多く、中国製と合わせると全確認個数の 74%を占めた。西原海岸でも同様に、全確認個数の約 73%が中国・台湾と中国製であった。

飲料缶については確認個数が少なくカギンミ西で 6 個、入江海岸で 1 個であったが、カギンミ西ではそのうち海外製が 4 個であった。

漁業用ブイについては、水色(小)の確認が多く、カギンミ西では直径 20cm 未満の全確認個数の 46%を占めた。

ビニール製バルーン、電球・蛍光灯についても確認個数が少なく、また製造国の特定に至ったものはなかった。

表 4.3-20 特徴的な海岸漂着物の漂着個数

（宮古諸島地域）（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）

素 材	種 類			宮古島・池間島			
				北	北東	南	西
				カギンミ西	西原海岸	入江海岸	前浜海岸
プラスチック類	ペットボトル	1000cc 未満	ラベル有	215	84	6	
			ラベル無	315	87		
		1000cc 以上	ラベル有	10	3		
			ラベル無	45	18		
	漁業用ブイ	直径 20cm 以下	水色（大）	5	2		
			水色（小）	180	39	1	
			オレンジ	82	18		
			その他	123	38	8	
		直径 20cm 以上	黒色	9	2		
			赤・黄・橙色系	1	2		
			その他		1		
	ライター			49	9		
	日本製の農業用の容器・袋類						
	日本製の飲食用の容器・袋類						
	ポリタンク		韓国				
			その他				
			不明				
	ビニール製バルーン		中国				
			台湾				
			その他・不明	1	1		
発泡スチロール類	日本製の飲食用の容器・袋類						
ガラス・陶磁器類	電球				1		
	電球（ラベル有）						
	蛍光灯				4		
	蛍光灯（ラベル有）						
金属類	飲料缶（日本製）			2		1	
	飲料缶（海外製）			4			
医療系廃棄物	バイアル			1			
	注射器・針			2		1	
	その他						

注） 空欄は回収がないことを示す。

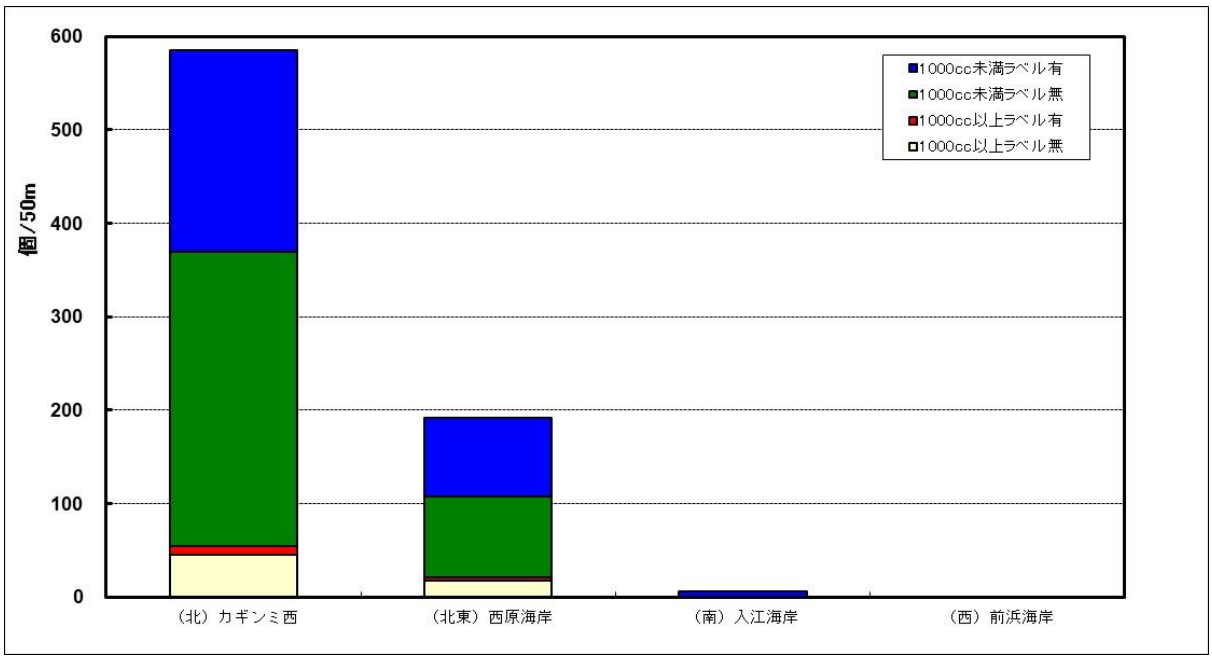


図 4.3-55　ペットボトルの容量及びラベルの有無別の漂着個数調査結果
（宮古諸島地域）（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）

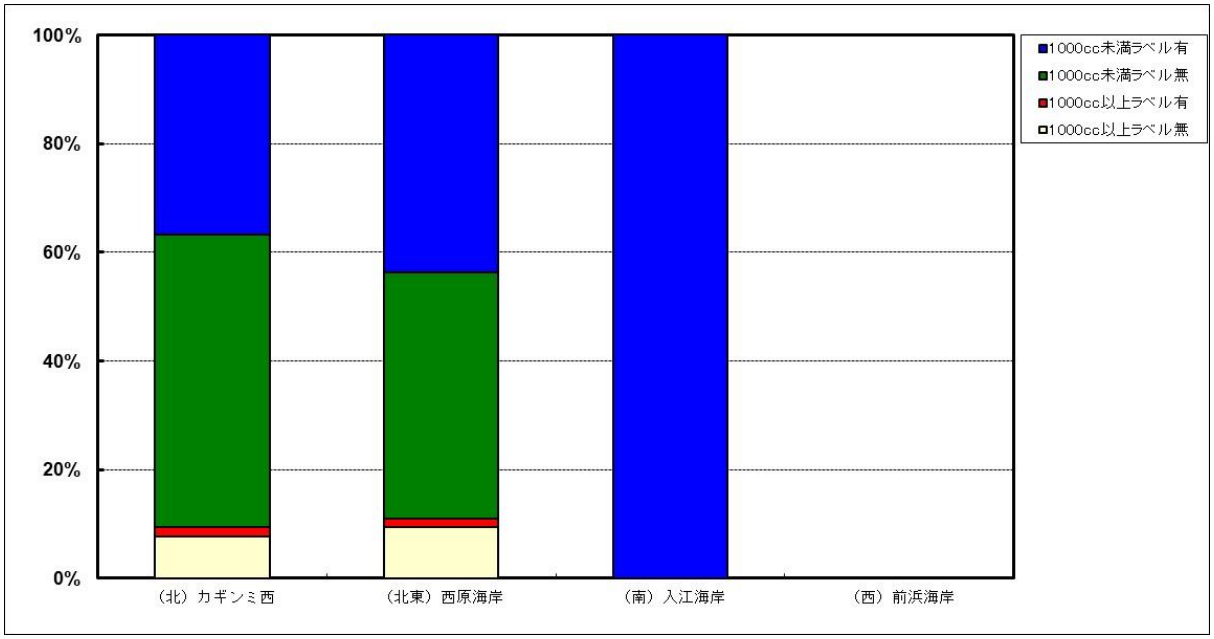


図 4.3-56　ペットボトルの容量及びラベルの有無別の漂着個数調査結果
（宮古諸島地域）（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）【割合】

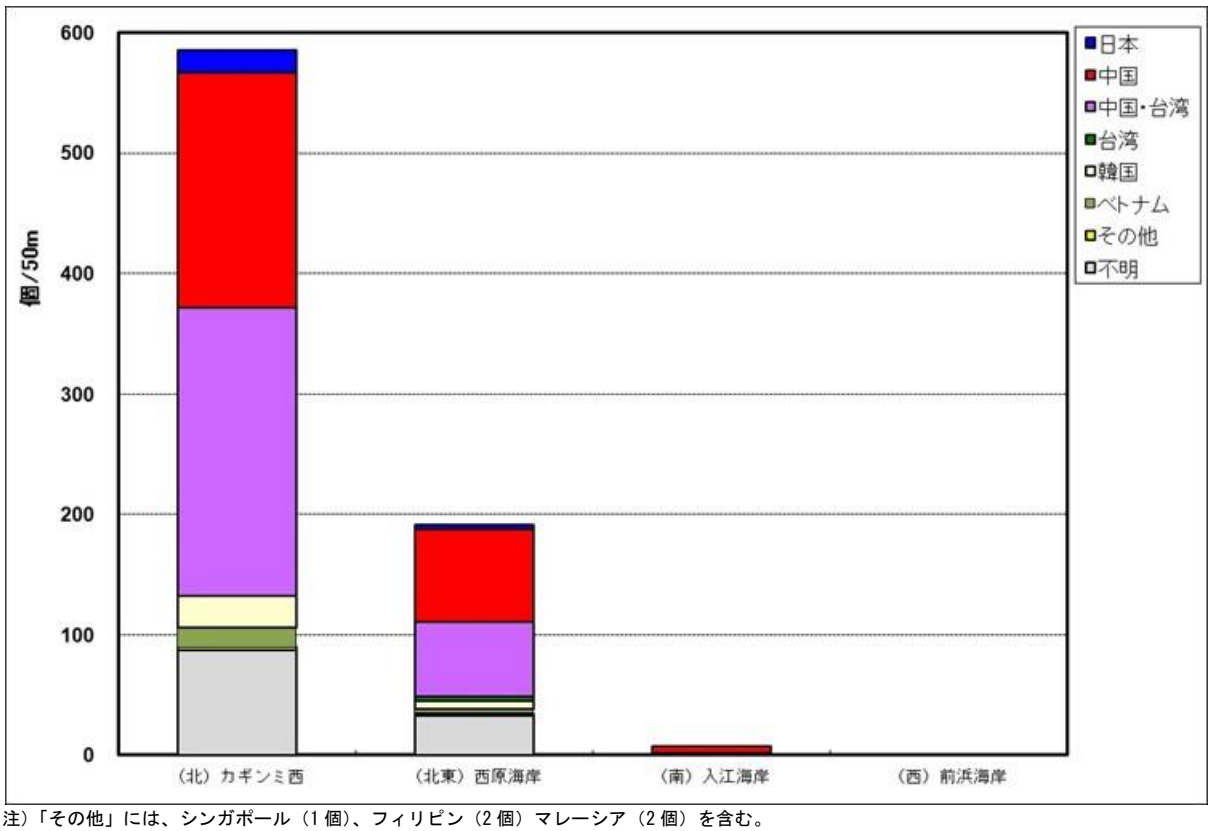
表 4.3-21　ペットボトルの生産国別の整理（宮古諸島地域）

（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）

単位：個/50m

種　類	生産国	宮古島・池間島				合計
		北	北東	南	西	
		カギンミ西	西原海岸	入江海岸	前浜海岸	
国名	日本	19	3			22
	中国	195	77	5		277
	中国・台湾	240	62			302
	台湾		4	1		5
	韓国	26	7			33
	ベトナム	16	3			
	その他	3	2			5
	不明	87	33	1		121
合計		586	191	7		784

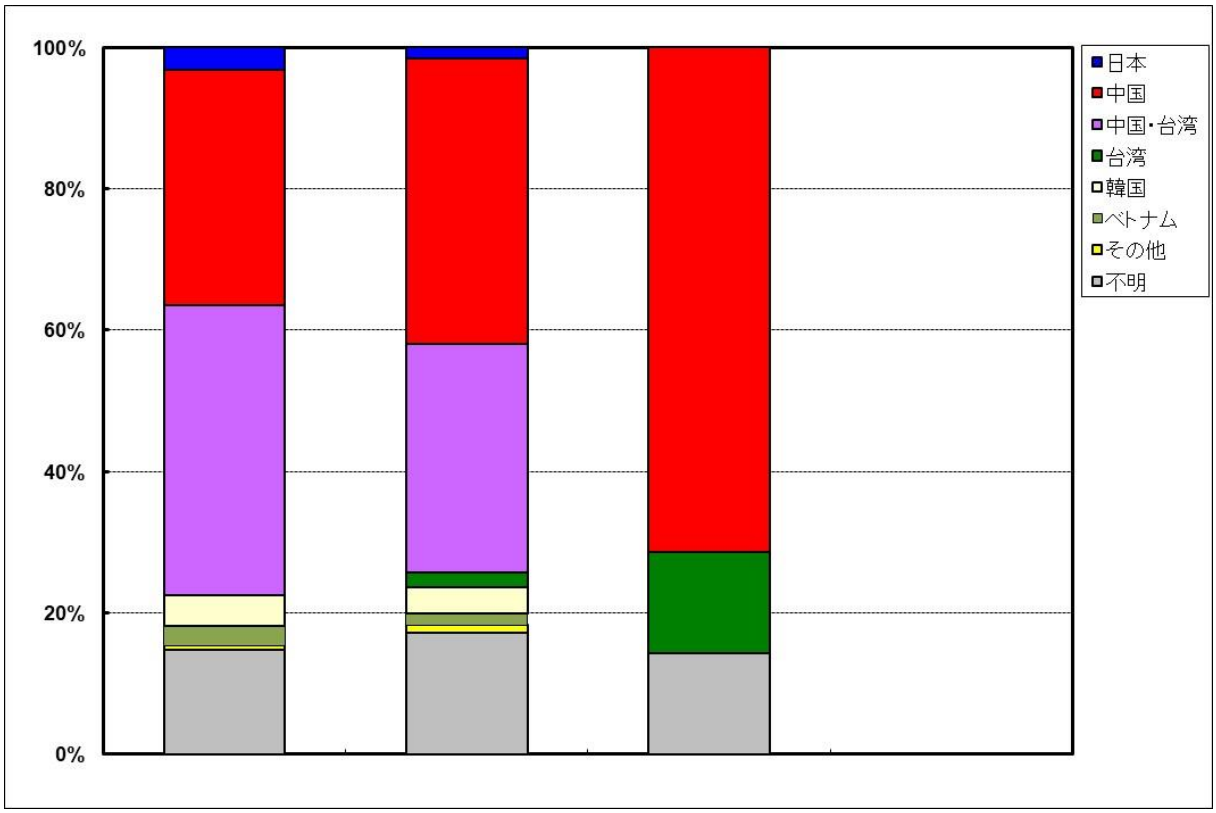
注 1)「その他」には、シンガポール（1 個）、フィリピン（2 個）マレーシア（2 個）を含む。
注 2）空欄は回収がないことを示す。



注)「その他」には、シンガポール（1 個)、フィリピン（2 個）マレーシア（2 個）を含む。

図 4.3-57　ペットボトルの生産国別漂着個数調査結果

（宮古諸島地域）（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）



注)「その他」には、シンガポール（1 個)、フィリピン（2 個）マレーシア（2 個）を含む。

図 4.3-58　ペットボトルの生産国別漂着個数調査結果

（宮古諸島地域）（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）【割合】

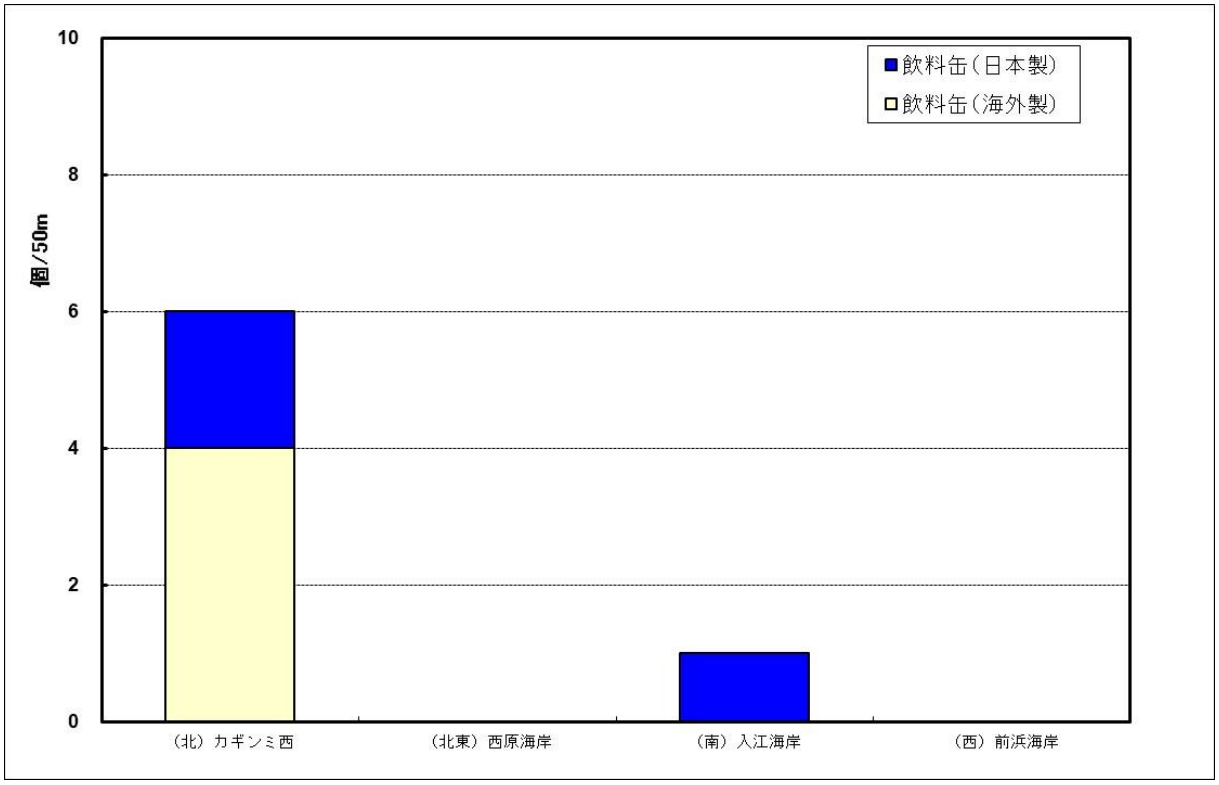


図 4.3-59　飲料缶の生産国別漂着個数調査結果（宮古諸島地域）
（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）

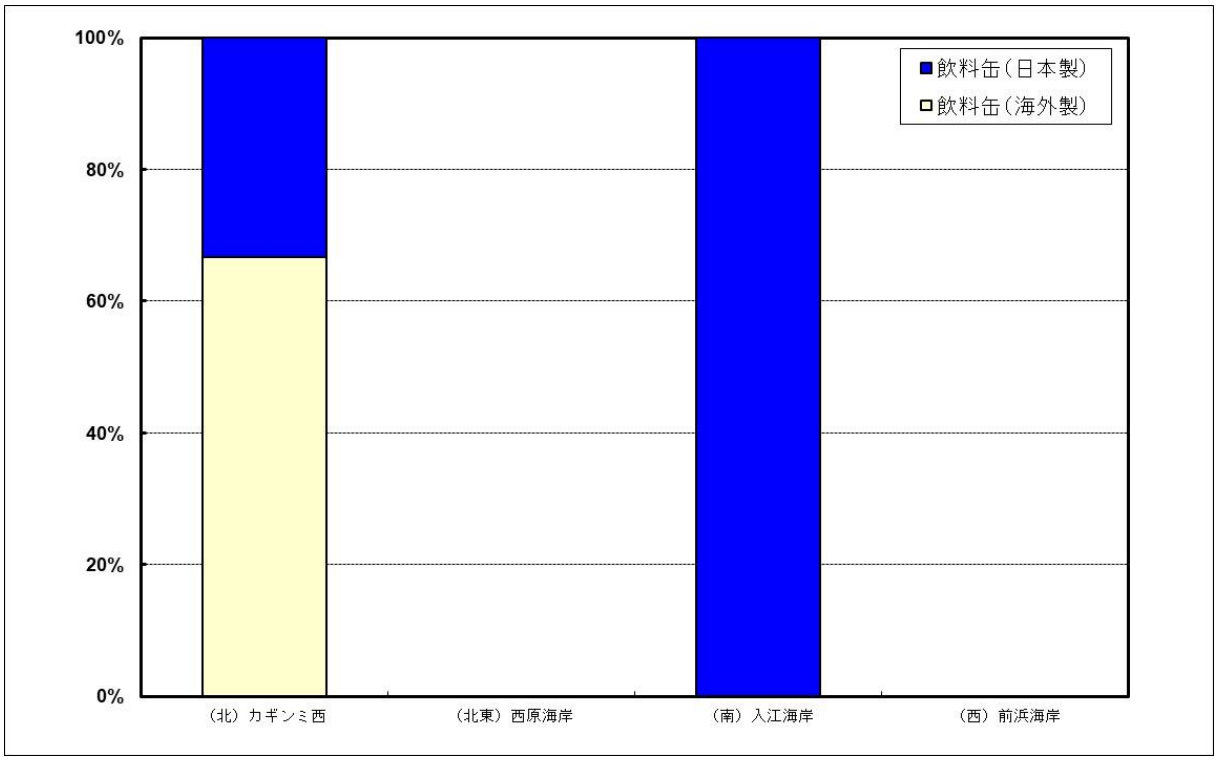
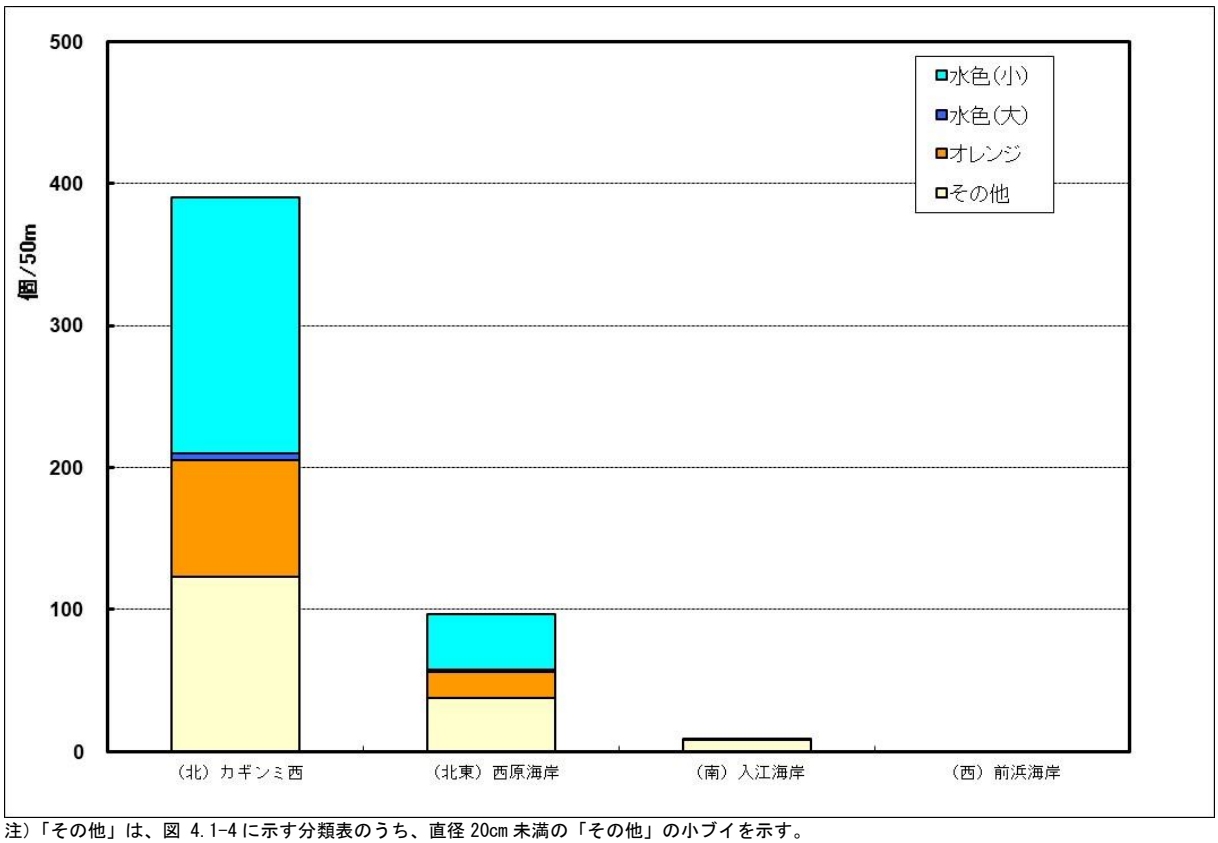


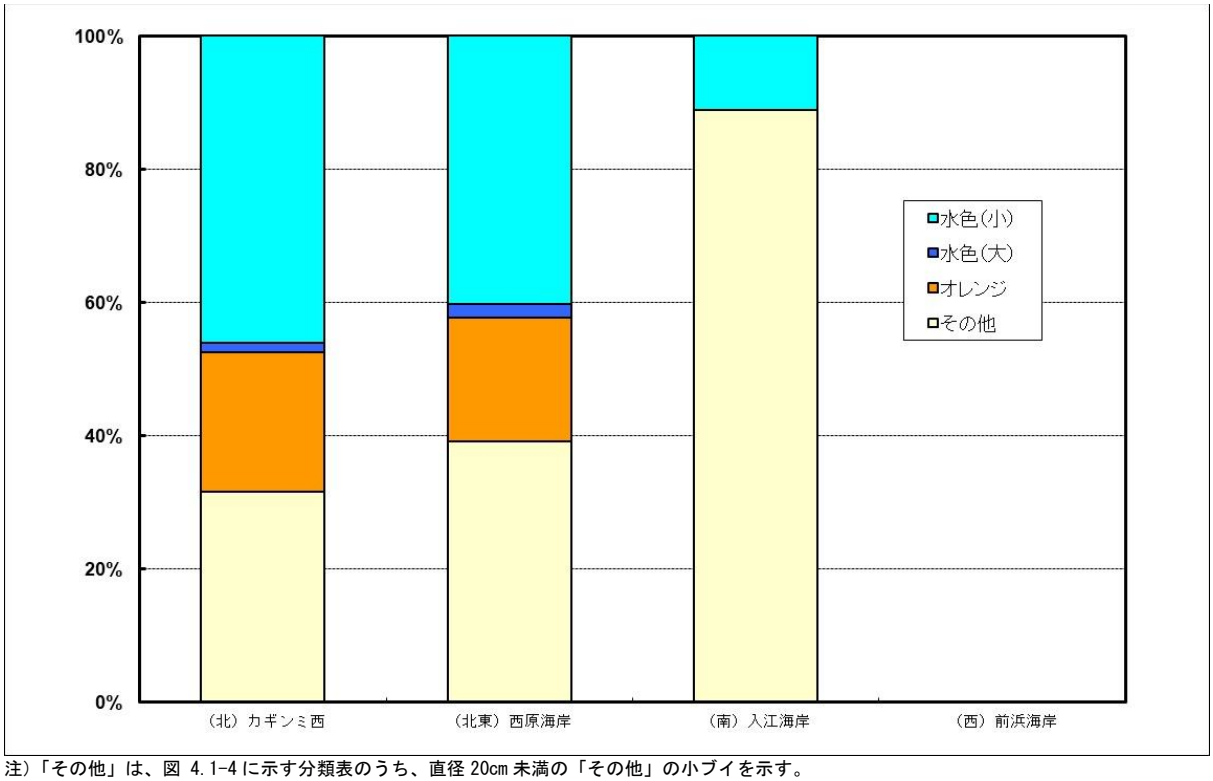
図 4.3-60　飲料缶の生産国別漂着個数調査結果（宮古諸島地域）
（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）

【割合】



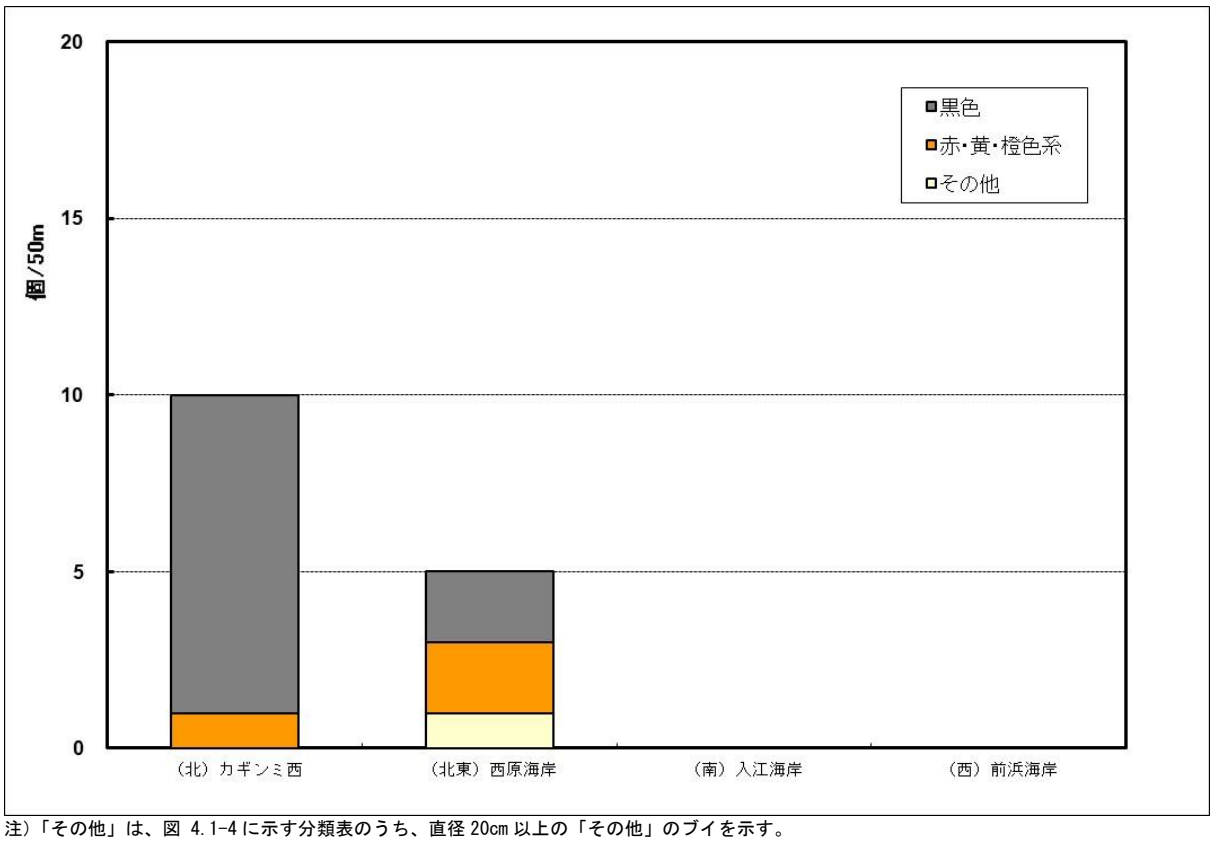
注)「その他」は、図 4.1-4 に示す分類表のうち、直径 20cm 未満の「その他」の小ブイを示す。

図 4.3-61　漁業用ブイ（直径 20ｃｍ未満）の漂着個数調査結果
（宮古諸島地域）（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）



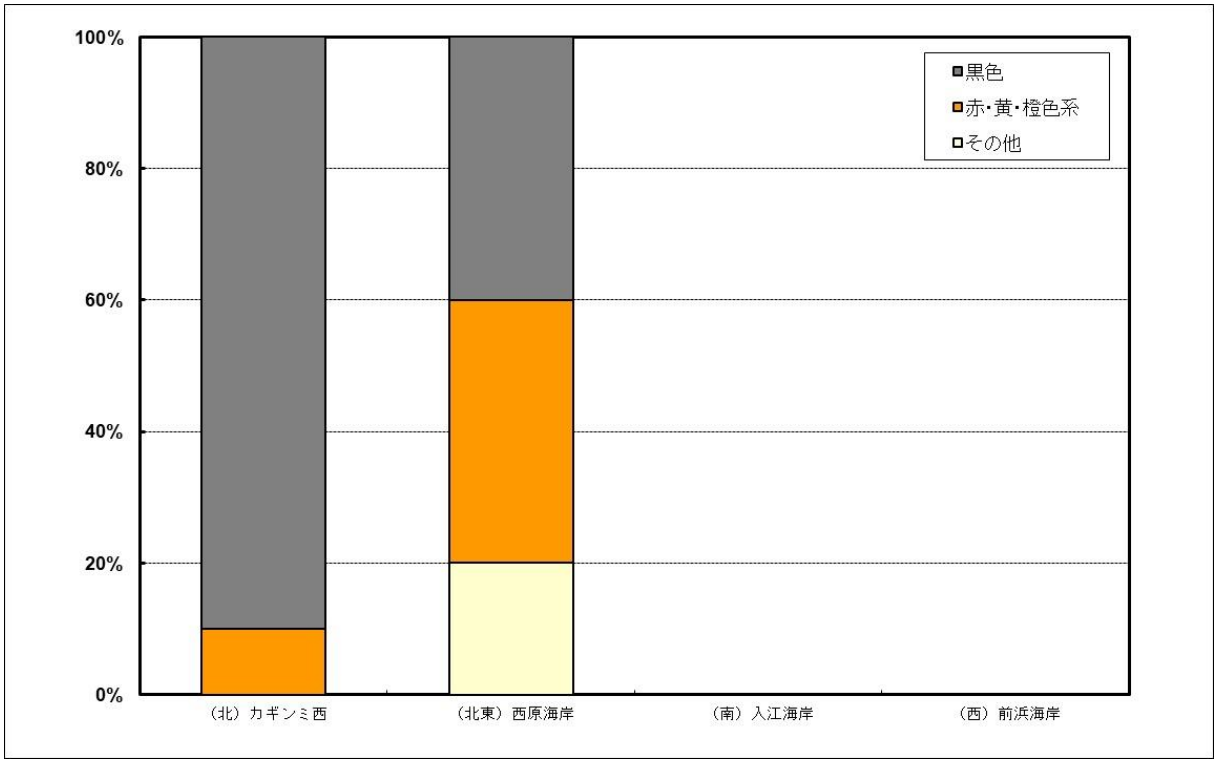
注)「その他」は、図 4.1-4 に示す分類表のうち、直径 20cm 未満の「その他」の小ブイを示す。

図 4.3-62 漁業用ブイ（直径 20ｃｍ未満）の漂着個数調査結果
（宮古諸島地域）（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）【割合】



注）「その他」は、図 4.1-4 に示す分類表のうち、直径 20cm 以上の「その他」のブイを示す。

図 4.3-63　漁業用ブイ（直径 20ｃｍ以上）の漂着個数調査結果
（宮古諸島地域）（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）



注）「その他」は、図 4.1-4 に示す分類表のうち、直径 20cm 以上の「その他」のブイを示す。

図 4.3-64　漁業用ブイ（直径 20ｃｍ以上）の漂着個数調査結果
（宮古諸島地域）（令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月の 60 日あたり）【割合】